

目標達成計画

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|----------------------------------|---|--|------------|
| 1 | 8 | 権利擁護、成年後見人制度を学べる機会が少ない。 | 職員個々の知識の向上につなげて入居されている方の生活の幅が広がる様に努めたい。 | 勉強会を開き、事例などを用いて継続的に行って行きたい。 | 3ヶ月 |
| 2 | 49 | 現状を考えると自ら外出したいと思う気持ちが表出しきれしていない。 | 共に楽しみ、喜びあえる時間を入居者自ら表出出来る機会を増やせる。 | 入居者自らの外出したいという気持ちを汲み取り日常的な外出の機会が表出出来る声掛けや、場面を作る。また、季節感を味わえる外出機会を計画し、外出の選択肢を作る。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

目標達成計画

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|---|---|------------|
| 1 | | ○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修等で学ぶ機会もあり、事故が無いよう防止にとりくんでいる。また職員同士理念をもち接している | 管理者はじめ、職員全員で事故に対しての話し合い、また、当事者に対しての配慮、利用者に対してのサポートを常に念頭に置き、職員同士些細な言葉、言動にたいして日頃から注意、話し合いが持てる環境を築いていきたいと思います。 | |
| 2 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 施設内講習や、消防署内での講習、緊急時マニュアルを作成しユニットごとに掲げている また、救急救命の講習も受け、対応に備えている。 | 実際に事故や救急要請の状態になったとき、スタッフの戸惑いや、動揺もあり、実践力につながるのを考慮し、施設内、ユニット内での定期的な訓練、講習を増やして行きたいと思います。 | |
| 3 | | ○役割、楽しみ事の支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | それぞれの生活歴を把握しつつドライブ、散歩、歌、庭いじり、大正琴等気晴らしができるように職員付添のもと支援している。 | 現状も個々の楽しみ、気分転換を考慮し、希望に添える様努めてはいるが、職員の就労状態などで、支援も出来ないこともあるので、管理者、職員で出来る限りの支援をしていけるよう一層の努力をしていきたいです。 | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。